

世帯と人口
 (昭和63年5月1日)
 世帯 32,031 (+569)
 人口 100,343人 (+927)
 男 51,636人 女 48,707人

広報えびな

編集・発行
 海老名市役所秘書広報課
 〒243-04
 神奈川県海老名市国分155
 ☎ (0462) 31・2111

新消防庁舎を建設



新消防庁舎完成予想図



さらに 防災ネットワーク

大谷地区に、消防庁舎が建設されます。現在の庁舎を移転、新築するもので、来年春季に完成する予定です。この新庁舎は情報化社会にふさわしい設備を備えており、消防本部を中心とした消防署（本署）と北分署、南分署を結ぶ防災のネットワークが一段と強化されます。そこで今回は、新消防庁舎の概要についてお知らせします。

完成は64年2月

新しい消防庁舎が建設されるのは、大谷八二六番地。現在建設中の新市庁舎のすぐ南側です。



緊急事態への対応もよりスムーズに

約二千五百二十五平方メートルの敷地に、鉄筋コンクリート（一部鉄骨）造り二階建ての消防庁舎棟と付属棟が建設されます。延べ面積は合わせて二千六百五十一平方メートルで、現在の消防庁舎の約二倍になります。今月から工

事に着手し、来年の二月末までに完成する予定です。市では、人口が急増し、都市化が進行するなかで、消防車両の増強や分署を設置するなどして消防力の強化を図ってきました。しかし、現在の消防庁舎の周辺は大規模な商業施設などがあることから交通渋滞が激しく、消防活動に支障をきたしています。消火・救助・救急活動は、初期出動の体制強化が必要です。また、都市化の進行や生活様式の多様化で複雑になった災害に対応するには、消防組織や施設

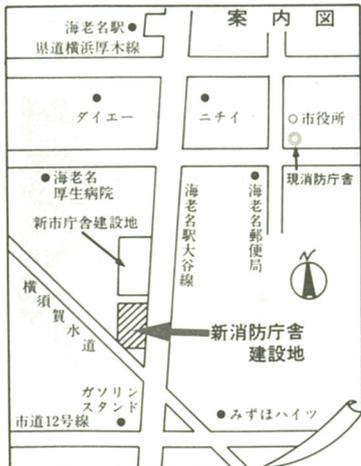
機材の充実と機動力のある体制を作らなければなりません。災害から市民のみならず、生命・財産を守るために、消防活動の拠点となる新しい消防庁舎を計画したものです。

緊急指令システムにコンピュータ

計画に当たっての基本方針は、①消防業務に必要で、かつ情報化社会にふさわしい設備を備える②全庁的な災害が発生した場合に、その対策を的確・円滑に行える機能を持つことです。この方針に基づき建設される消防庁舎は、火災・水害・地震などの災害活動や救助活動に際して、十分に消防機能を発揮し機動力を生かせるものとなっています。消防庁舎棟の一階には、緊急車両用の車庫、待機室、仮眠室などがあります。緊急車両は、東側道路（海老名駅大谷線）から出入りします。二階には、通信指令室、訓練室、事務室などがあります。通信指令室の緊急指令システムには、コンピュータを導入する予定です。

常備消防は三署体制

市では常備消防として、消防署、北分署（柏ヶ谷）、南分署（上岡内）を設置、九十八人の消防職員が勤務しています。消防庁舎の移転、新築で、三署間の関係がよりスムーズになります。（写真は、北分署の出動と南分署の訓練風景）



児童・生徒の意識調査結果

先生にほめられ

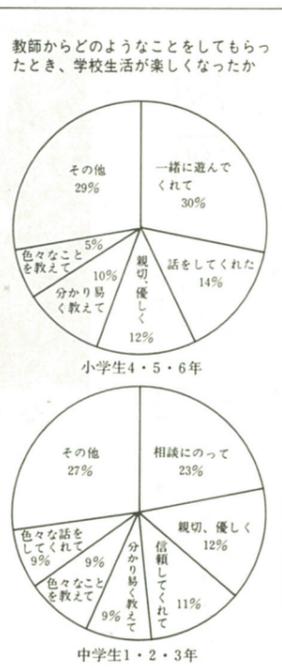


杉本小学校六年 細川正幸

「ほめた」の学校では、三年前から一年生から六年生までの全学年が一緒に遠足に行く「全校遠足」が行われていて、各学年別に遠足に行っている。全校遠足では、行動をする時は母と一緒です。学校に行く時、近所の子と一緒に登る。

「全校遠足」に行っている

でも、副班長の室井君と協力して頑張ってきたと、一年生と一緒に遊んでいると、一年生の方がはるかにいろいろな遊びを知っている。



部活動への意欲は中学2年で最高に (写真は)

教師からのどのような言葉や行為で学校が楽しくなったか、分析して見ると、小・中学生は「遊んでくれる」30%、「ほめられる」30%、「つまらない理由が叱られて」24%、

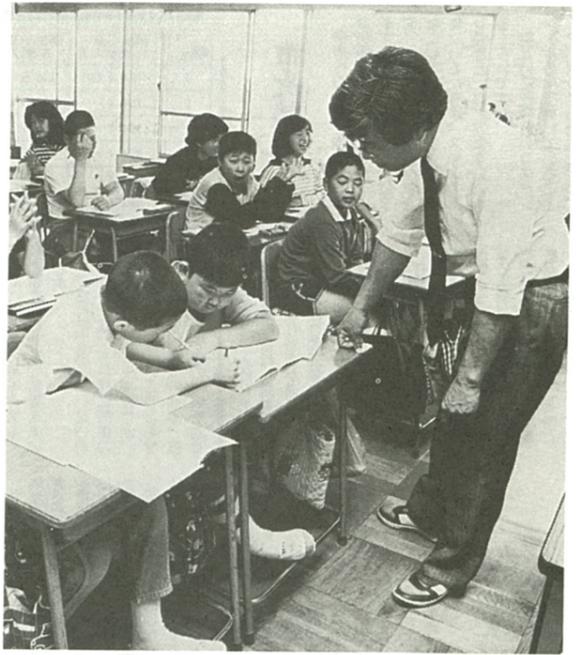
学校は楽しい



毎西中学校

成績上げたい60%

「成績上げたい」60%、頭張っていること1位。学校で自由をもち伸ばしたい、もっと良くしたい、と思



分り易く教えてくれて、勉強が楽しくなった (写真は有鹿小学校)

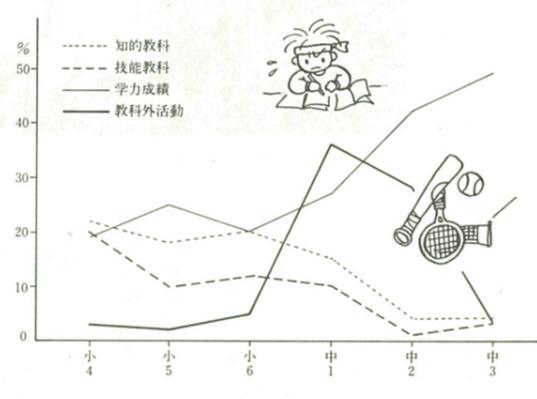
調査の方法

調査は昭和六十二年十月に行われ、対象者は小学校三校中六校の四年生から六年生六百八十六人、中学校六校中四校の一年生から三年生の四百七十二人を抽出して行った。調査の目的は、市内の小

中学生の意欲は「入試」に向けて

教科学習と教科外学習は、学校教育の車の両輪ですが、これを学年別にみた傾向は下表のよう

学年別にみた現在児童・生徒が頭張っていること



温かい言葉で意欲

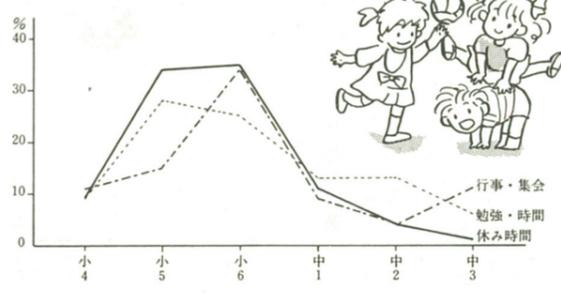
小・中学生では感じ方に差

「温かい言葉で意欲」教師の言葉や行為を分析。教師の行為によって、学校生活がつまらなくなった理由の第

学校生活での希望は?

楽しい学校生活を送るための要望内容は多岐にわたるが、最も多かったのは「行事・集会」で、

学年別にみた学校生活面での要望



小学生図画コンクール作品募集

▽課題 淡水魚または川
▽用紙等 用紙は四つ切り (38cm×49cm、クレヨン、水彩、画かき紙、水彩、画かき紙、水彩、画かき紙)
▽応募方法 画かき紙に、学年、学校名、保護者名、住所、電話番号を作品裏面に書き添えて、6月30日まで相模原市下溝一〇四、(0427)78-0221まで、応募作品は返却しません。▽発表と展示 7月10日入選者に通知、7月24日131日同園内に展示

市史を訪ねて 吾妻坂

市史協会の調査で、馬場支所や馬場郵便局のある中河内集落から、東方永池川に下流を見ながら、吾妻坂を渡る。たまたま道は十字路となる。そこから折返し、日土神社を左下に見ながら、吾妻坂を登る。坂の上には有馬小学校、同校の正門に続く道は昭和八年にできたものという。それらは、この吾妻坂が地区の主要道路だったこと、幅員約三・六、長さ約百六十、標高差約九、勾配のゆるい明るい感じの坂である。

